

開講科目名 / Course	健康情報処理演習
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 1 学期 / First
開講区分 / semester offered	1 学期 / First
単位数 / Credits	1.0
学年 / Year	1
主担当教員 / Main Instructor	品川 佳満
担当教員名 / Instructor	品川 佳満、野津 昭文、岡田 悠希
必修・選択 / compulsory subject	必修
講義形態 / Class Type	演習
授業回数	15
科目の目的と概要	学習や業務に必要なICT（情報通信技術）のスキルを高めるために、データ管理、ネットワーク・クラウド利用、文書作成・表計算・プレゼンテーションソフトの活用、データベース検索、AIの活用等について、演習形式で学習する。
到達目標	1. サーバやクラウドサービス（生成AIを含む）の利用ができる。 2. ワードプロソフトを用いて基本的な文書作成ができる。 3. 静止画像・動画の作成、編集ができる。 4. マルチメディアを活用したプレゼンテーション資料の作成ができる。 5. 表計算ソフトを用いて基本的なデータ処理が行える。 6. インターネットや文献データベースを利用し、必要とする情報を高い精度で検索できる。
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、6.探究心と創造力
授業計画	01. ネットワークの利用(1) サーバ、クラウドサービスの利用 02. ネットワークの利用(2) データ管理 03. 文書作成の基礎 04. 画像処理の基礎 05. 動画処理・プレゼンテーション 06. 表計算(1) 基礎 07. 表計算(2) 計算・関数 08. 表計算(3) ソート、抽出、関数を使った集計 09. 表計算(4) ピボットテーブルを使った集計 10. 表計算(5) グラフ 11. 表計算 習熟度の確認(1) 計算・関数を中心とした総合課題 12. 表計算 習熟度の確認(2) データ集計・グラフ化を中心とした総合課題 13. データベースの利用(1) 情報検索の基礎 14. データベースの利用(2) 文献・図書DB 15. 生成AIの学習・研究への活用
その他の授業の工夫	クラウドサービスの活用により、インターネットにつながる環境であれば、どこからでも講義資料の閲覧や演習課題に取り組むことができる。
時間外学修	事前学修：Classroomにアップロードした資料や事前学修用の動画等を閲覧しておく（4h）。 事後学修：毎回練習問題・課題を提示する。その問題を解くことで、知識・技術が身についているか確認を行う（8h）。
評価方法と評価割合	練習問題・課題：60% コンピュータを利用した実技試験：40% 練習問題・課題は、毎回出題する予定であり、情報技術・知識の修得状況を評価する。なお、期限後に提出された課題や欠席した回の課題は、減点または評価対象外とする。 欠席が5回を超えた場合、不合格となる（20分までの遅刻は2/3の出席、それを超えると欠席として取り扱う）。また、他人のファイルをコピーして提出したことが発覚した場合、試験を正当な理由なく欠席した場合は、不合格となる。
テキスト	特に指定しない。 毎回ハンドアウトを配布する。参考図書は適宜紹介する。
参考書	系統看護学講座 別巻 看護情報学（医学書院）
履修する上で必要な要件	

その他	年度始めに開催されるオリエンテーションで、看科大IDや情報処理教室の利用法の講習を受けること。	
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		